

よんて! めって。あそべるえほん



# みすいのながぐう

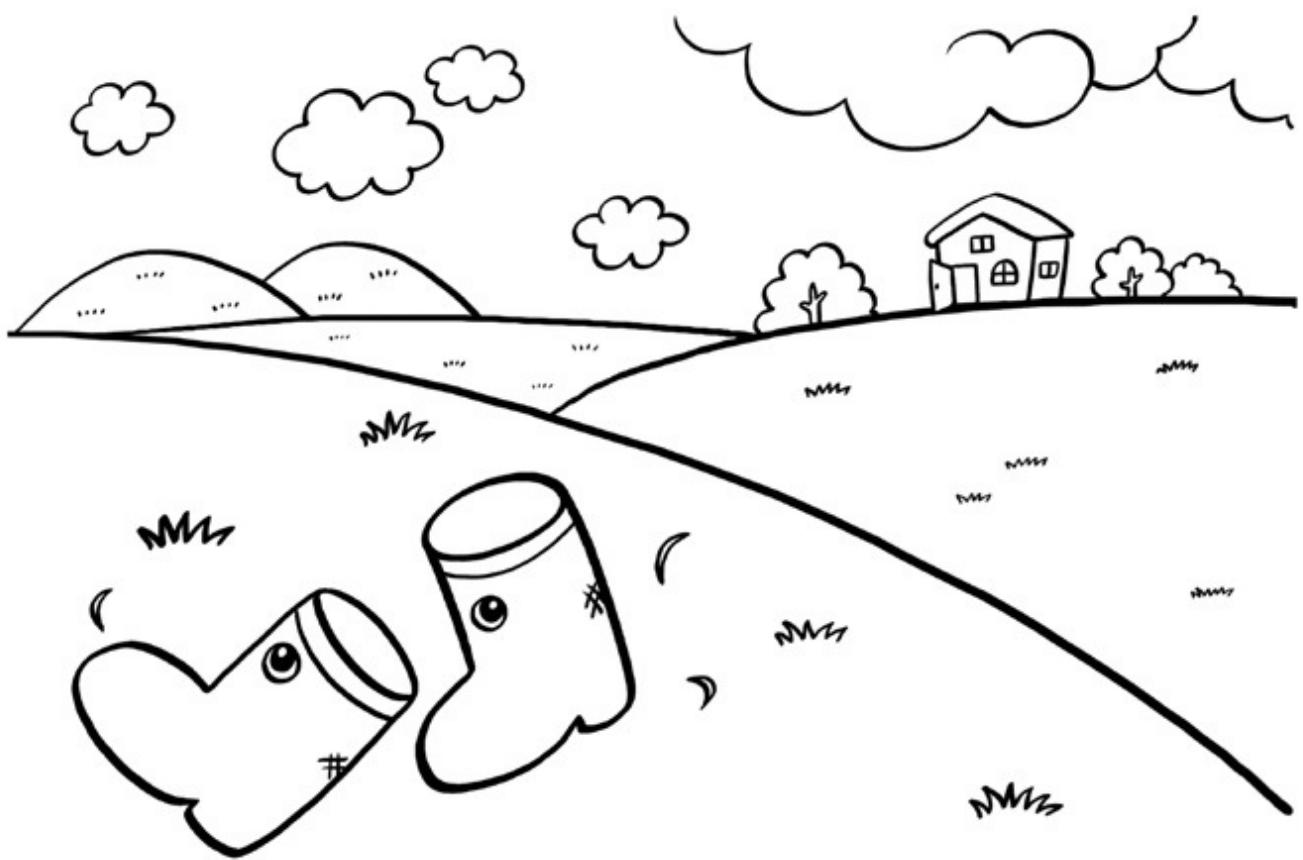


さく・つきん え・いせきあい



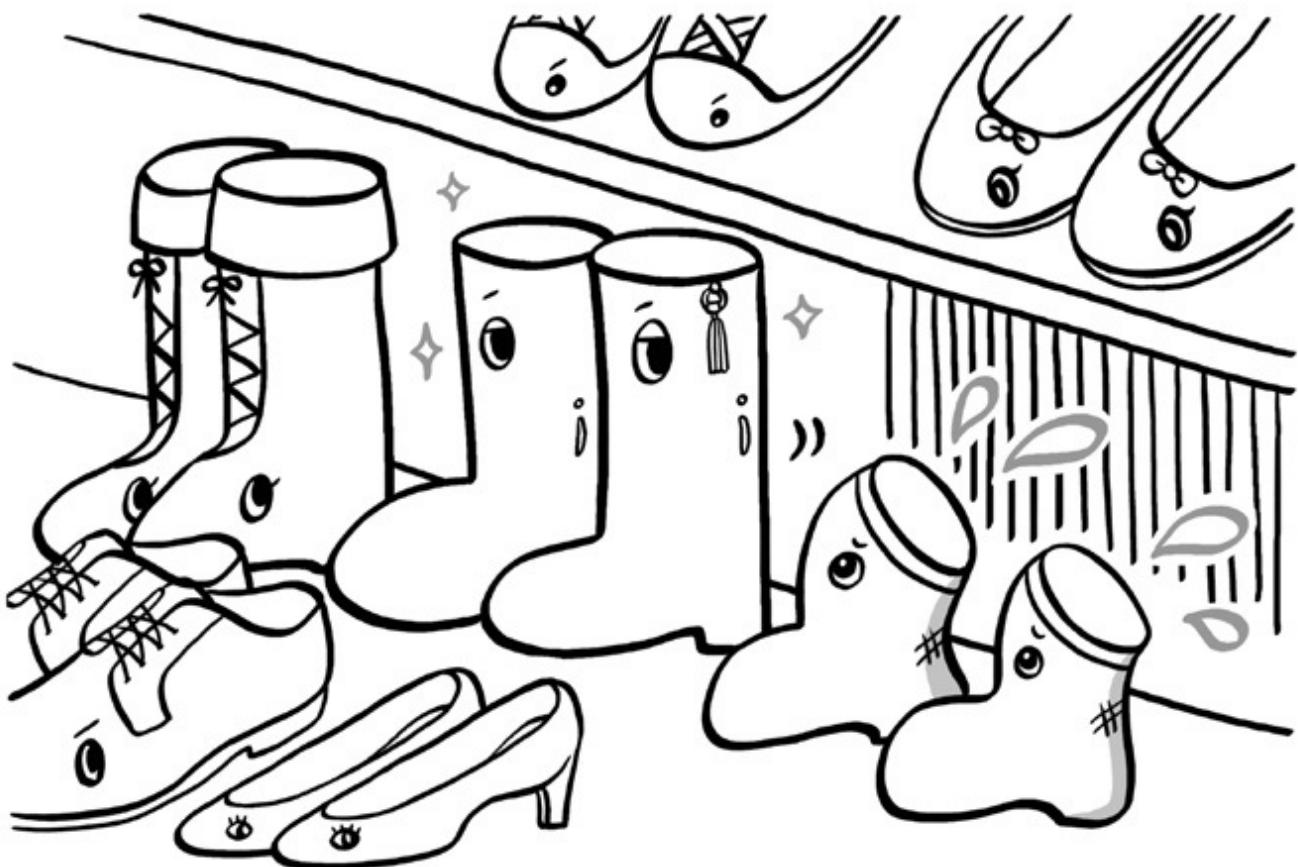


さく・つっきん え・いせきあい



あるひ、げたばこのとびらが あいたとき、  
ぼくは そとへ とびだしたんだ。  
ぼくは 子どものながぐつ。  
ひさしぶりの そとは、  
まぶしくてきもちいいなあ。

まえは、  
あめのひはもちろん はれたひだって  
そこに つれだしてもらえた。  
ぼくは うれしくて  
ちいさいあしを どこへだって つれてった。  
あいつのせいなんだ。  
ピカピカのしんいりが おおきなかおして はいってきた。  
ぼくは ぎゅうぎゅうおされて  
おかげで すっかり からだが よじれてしまった。





「フー」

おおきく いきをすいこむと、

よじれたからだが しゃんとしたきがするよ。

さあ、

だれかを おのぞみのところへ つれていってあげよう。

だれが ぼくをきにいってくれるか

たのしみだ！

さいしょに あったのは、おしゃれな しろいねこ。

「ぼくと どこか いきませんか？」

「あたしが？あんたと？じょうだんでしょう

くさい においが うつっちゃうわ！」

ねこは ギヤッ と ぼくをひっかいて

ツンツン むこうへいってしまった。

いたい！ なんてしつれいな ねこだろう！

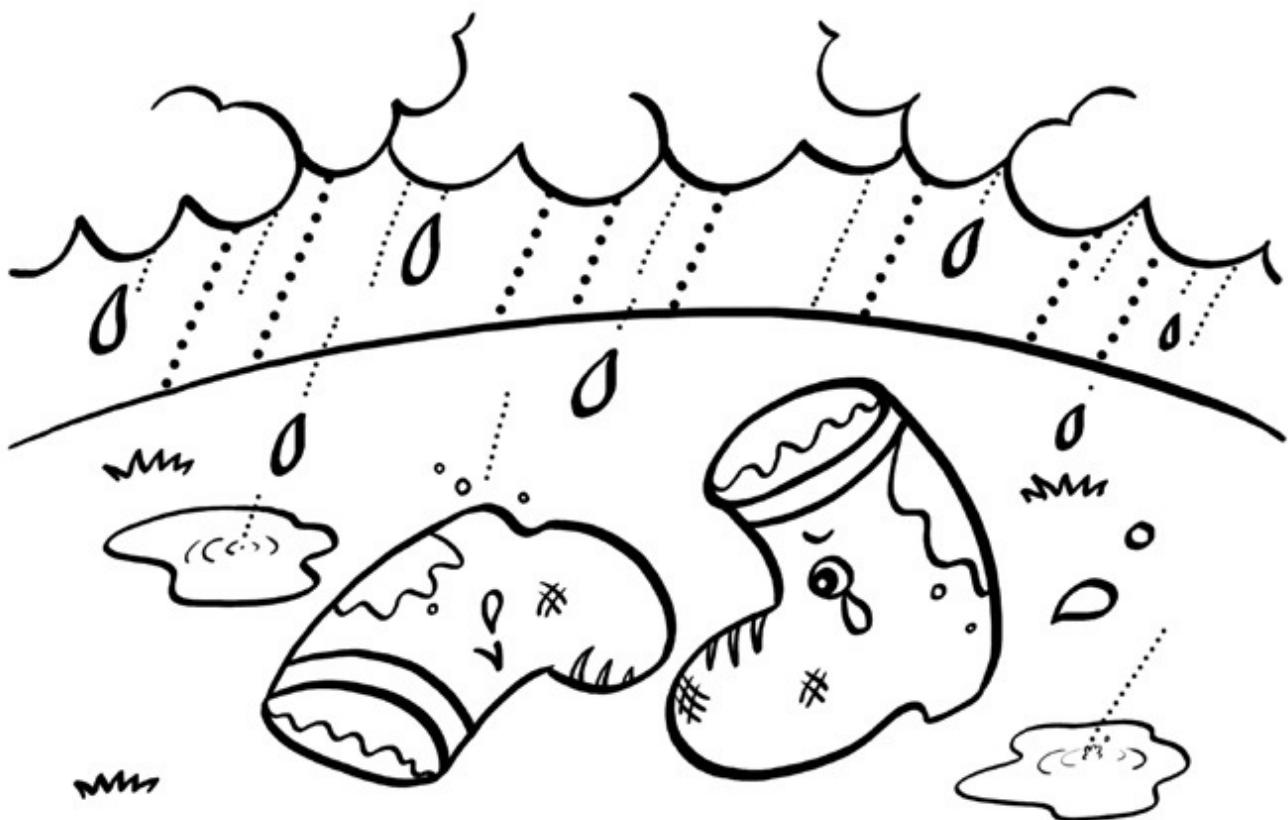


きずを さすっていると、  
カラスが すうっとやってきて、ぼくを じろじろ みていた。

「ねえ、ぼくをはいてみない？  
どこへでも つれていってあげるよ」  
カラスは カッカッカー とわらって、  
するどい くちばしで ぼくをつつくなり、  
「ばかいうな。おれさまには はねがあるのさ。  
きっとない ぼろぐつこぞう！」  
と、そのまま ひゅうんと とんでいった。



ああ、がっかり。  
 ぼくは　きたない　やくたたず。  
 だれにも　あいてにされないなんて　さびしいよう。  
 ポッポッ・・・ポツン。  
 あめ・・・。つめたいなあ。  
 からだのなかまで　ぬれちゃうよ。  
 どこかで　あまやどりをしなくちゃ。



ところが　いっぱいふみだしたとたん  
 ぼくは、ずるんとすべて　ころんだ。  
 きずだらけのからだに　あめと　どろが　しみて  
 どうしようもなく　いたい。

・・・もう だめだ。

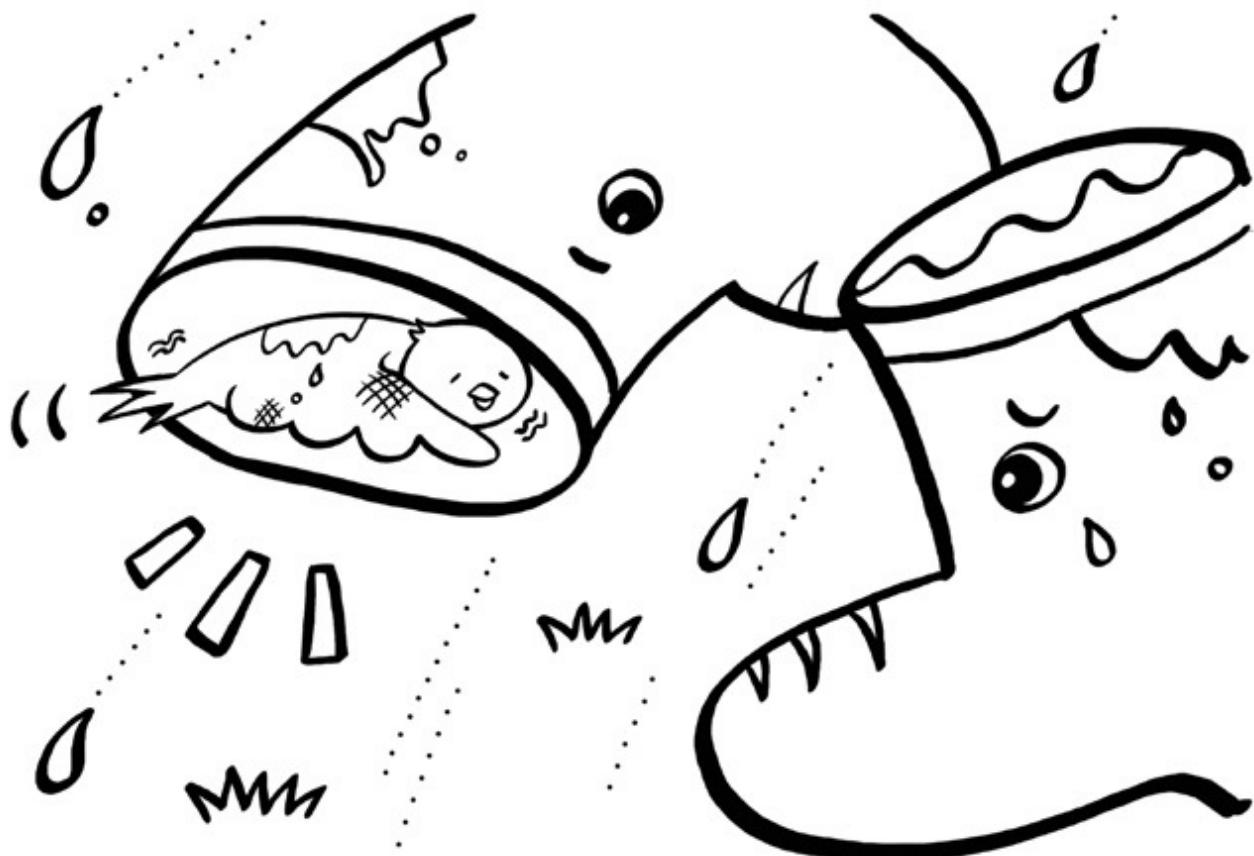
たおれたまま、きをうしないそうになった。

そのとき、ズルッズルッと

だれかがぼくのからだに はいってきた。

はねから ちをながした

ぶるぶるふるえている いちわのことり。



ことを たすけてあげなくちゃ。

そらを とべないなんて

かなしいに きまってる！

あめが やむと、  
ぼくは ことりをいれたまま ゆっくり おきあがって、  
そおっと そおっと はしりはじめた。  
ねこのことも、カラスのことも みんなわすれて、はしりつづけた。

・・・びょういん ここだ！

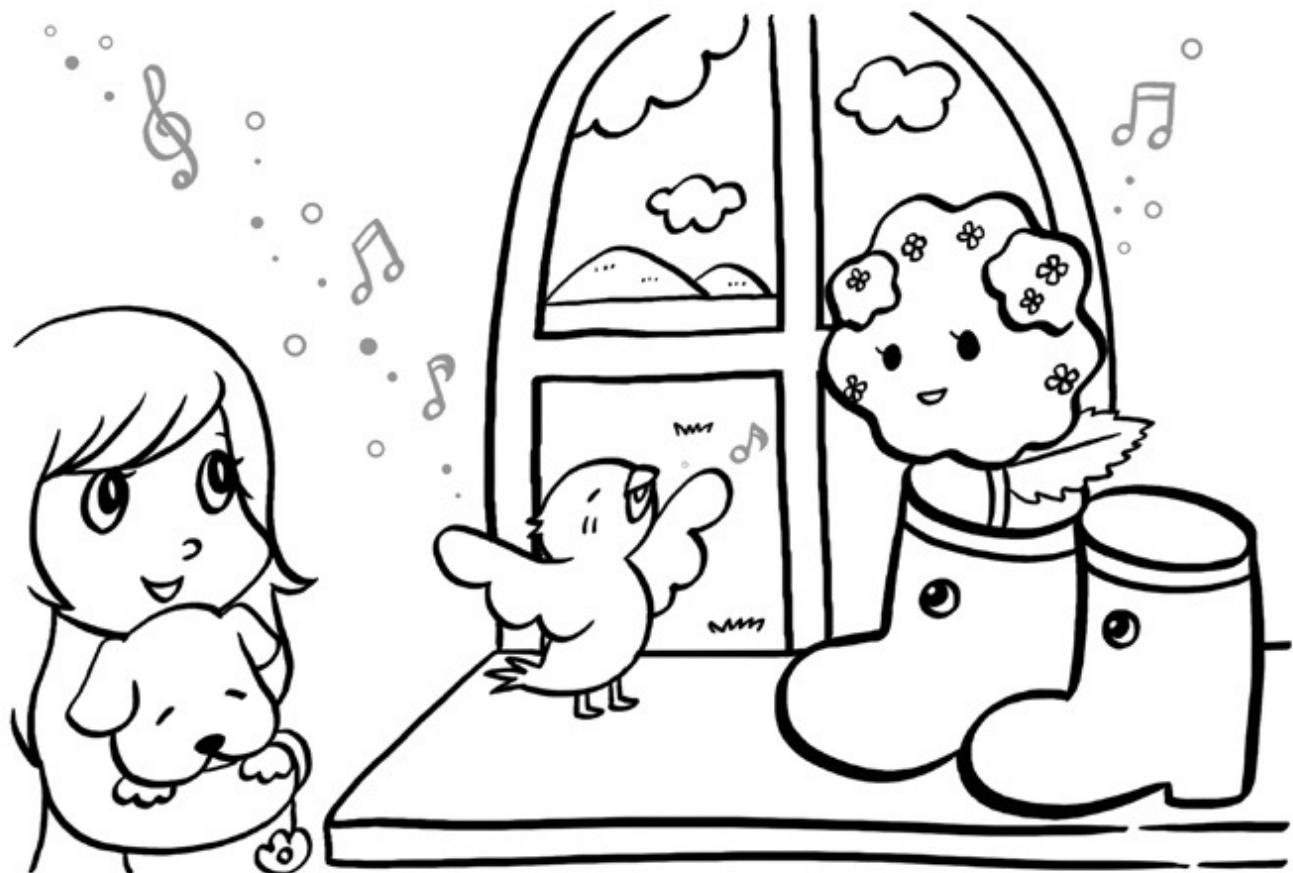


ことりの はいっていないほうで  
なんども ドアに たいあたりした。  
なかから でてきた おいしゃさんは  
ほんとうに おどろいていた。  
そりや、そうさ。  
ぼろぼろの ちいさな ながぐつと けがをした ことりが  
とつぜん たずねてきたのだから。

おいしゃさんは すぐに  
ことりの てあてをしてくれた。  
おいしゃさんの おくさんが  
ぼくのからだを きれいに ふいて、  
いってくれた。  
「ゆうかんな、ながぐつくん。  
よかったです、うちにいなさい。」



いま、ぼくは、びょういんのまどべで  
げんきになった ことりと はなしをしたり、  
うたをきかせてもらったりしている。  
ぼくのからだには いちりんの おおきなあじさい。  
おくさんは ぼくをかびんがわりに  
つかってくれ、かんじゅさんたちに  
ぼくのことを はなしてくれる。  
ぼくは、とてもしあわせだ。



ないしょだけど、  
こんやは あじさいとやくそくがあるんだ。  
こうえんで、ぶらんこにのりたいって いうのでね。

それまで、ひとねむりしよう。  
ぼくのはなしは これで おしまい。

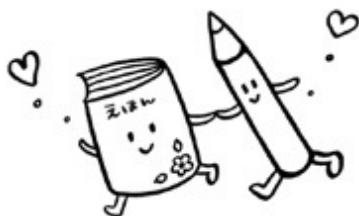


## 【ぬりえ絵本のコト。】

読む楽しみ、聞く楽しみ、見る楽しみ、めくる楽しみ。  
 絵本にはたくさんの楽しみがあります。  
 その絵本の楽しみをさらに広げたいという思いと、  
 描くこと、めくることは小さなお子様方の指先を使う  
 トレーニングにもなるという視点からこのぬりえ絵本が  
 誕生しました。

感じた色を心のままに直接絵本に彩ることで、より絵本  
 の世界を冒険できると思うのです。  
 まるで、自分もその絵本の中に入り込んだかのように。

この絵本は、東日本大震災チャリティ活動の一環として  
 電子書籍化しました。多くの子供達がこのぬり絵を楽し  
 んで、遊んでくれますように。



みずいろのながぐつ

\*\*\*\*\*

2011年4月3日 電子書籍発行

作：つっくん  
 絵：いせきあい

(C)2011 TSUKKIN・AI ISEKI, Printed in JAPAN

本書の無断転用・転載は禁じられています。

## 【作者紹介】

- ・おはなし担当：つっくん  
 童話作家。HP「つっくんの童話屋さん」において  
 数多くの話を掲載中。  
<http://www.tukkin.net/>
- ・イラスト担当：いせきあい  
 イラストレーター。「えがお、つながる。」を  
 コンセプトにした優しい絵が特徴。  
 HP「Ai's EYES」<http://isekiai.jimdo.com/>